

進路だより

山梨高校 進路指導部

第3号 12/21

初の「大学入学共通テスト」迫る！

大学入試制度が大幅に変更された中、これまでの「大学入試センター試験」に代わって実施される初の「大学入学共通テスト」まで残り1か月を切りました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れに配慮し、1月16日（土）・17日（日）に加え、2週間後の1月30日（土）・31日（日）にも受験機会が設定されるという、異例の事態となりました。しかし出願者総数535,245名のうち、いわゆる第2日程での受験を選択した人は全国で718名（山梨県では12名）と、全体の0.1%にとどまりました。共通テスト後の国公立大学個別二次試験および私立大学の個別試験への影響を考慮し、多くの受験生が従来通りの日程を選択したと推測されます。

本校3年生は全体の47.6%にあたる**78名**が出願しています。内訳は2教科以下受験者11名、3教科以上受験者67名で、**山梨大・山梨学院大・山梨県立大池田キャンパス**の**3会場**に分散しての受験となります。試験当日の2日間は、例年出席確認を兼ねて学年の先生方を中心に各会場で受験生を激励しながら入場を見届けてきましたが、今年度は感染拡大防止の観点から会場周辺への受験生以外の立ち入りが厳しく制限されるため、形を変えざるを得ません。万一濃厚接触者と認定された場合や試験直前の体調不良への対処など、ガイドラインに沿って適切に対応する必要があるため、受験する3年生には改めて周知する機会を設ける予定です。

国語と数学の記述式問題や英語外部検定試験の活用など、入試改革の目玉と位置付けられた事柄については導入が見送られました。ただ、ここまでの模擬試験の出題からは、各教科・科目とも従来の出題傾向が大きく変わっていることが明らかになっています。1・2年生の皆さんは、実際の出題内容を含めた共通テスト関連の報道に関心を向けてほしいと思います。受験する78名の3年生の皆さん、この共通テストを3年間の学業の集大成と位置づけて、最後まで最大限の努力をして臨みましょう。得意な教科や進学後も高いレベルの学力が求められる教科については、納得できる結果を得られるよう、具体的な目標（＝得点）の設定とそのクリアを目指してください。何よりも万全の体調で当日を迎えることが大切です。

冬の各種体験事業の中止について

例年、冬季休業期間を利用して多くの生徒が一日看護師体験や歯科衛生士体験等へ参加し、進路選択の一助としてきました。残念ながら今年の冬休み期間は、新型コロナウイルス感染防止のため、各種体験事業は全面的に中止という連絡が届いています。今後の感染状況により、参加可能な体験事業があればHRを通して連絡します。

コロナ禍での新入試制度、何が変わった？

3年生164名は、休校期間の明けた5月下旬以降、卒業後の各自の進路について具体的な準備を経た上で、さまざまな方式で受験に臨みました。これまでとは異なる対応を求められた中で志望校を選択・決定することに不安の声も聞かれましたが、工夫しながら各自の進路実現に向けて努力を重ねてきました。ここまでの受験で特に目立った点を紹介します。

①オンラインによる面談・面接の実施

主に専門学校のAO入試や大学・短大の総合型選抜において、まずオンラインによる面談を行った後に書類を提出する、という形式が複数見られました。また、特に都内の大学・短大では、実際の面接試験をオンラインで実施、もしくは対面形式またはオンラインのいずれかを受験生が選択・指定できるケースもありました。接続環境の確認等、事前に入念な準備をして臨んだ結果、特に混乱はなくスムーズに受験できたという声が聞かれました。

②「学修計画書」・「自己推薦書」の提出を求める大学の増加

出願書類の内容も大きく様変わりをしています。従来の「エントリーシート」（主に総合型選抜）や「志望理由書」（主に学校推薦型選抜）に加えて、あるいはそれに代わるものとして、この「学修計画書」および「自己推薦書」の提出を課す大学が非常に増えています。前者は入学後の学びについて4年間の見通しを持って立てた具体的な計画を文章化したものであり、後者は単なる自己の売り込みにとどまらず、いかに志望分野に対する適性や意欲に富んでいるかをアピールするものです。将来への明確な展望を持っているか、そして高校生活でのさまざまな挑戦や努力を経て成長できたと胸を張って伝えられる要素があるかが問われています。さらに相手側の求め（書式や内容など）に応じて、自分の思いが伝わる文章を書けるかも重要です。1・2年生の皆さん、進路を決めるのはまだまだ先のことだとのんびり構えている場合ではありません。「今」の過ごし方を改めて見直してみましよう。

〈3年生の保護者の皆様へお願い〉

本校生徒の進路検討・選択に際し、例年ベネッセや河合塾等の受験関連企業が取りまとめた各種データ（偏差値・合格可能性判定など）を活用しております。これは全国の高校生の入試結果情報等により作成されたものであり、今年度の本校生徒の入試結果についても、個人情報取り扱いに細心の注意を払った上で「個人が特定されない形式」での提供を予定しております。この件に関しまして、御同意いただけない場合は提供を控えますので、1月7日（木）始業式までに、HR担任または進路指導部までお知らせください。

〈1・2年生の保護者の皆様へお願い〉

上述の通り、「主体的・多面的な評価」が重視される傾向は今後ますます強くなると想定されます。実用英語検定や漢字検定など資格取得への挑戦、また各種ボランティア活動への参加についてご家庭においても督励していただけますよう、お願いいたします。学校が窓口となるものについては、随時お知らせしておりますので、お子様を通じてご確認ください。